







# キーボードを使いこなそう

Autoview-mやAutoview-s画面に表示した画像はキーボードを使うことで画像めくりはもちろん、複数シリーズの同時めくり（Autoview-mのみ）やシリーズ切り替え・患者切り替えを行うこともできます。

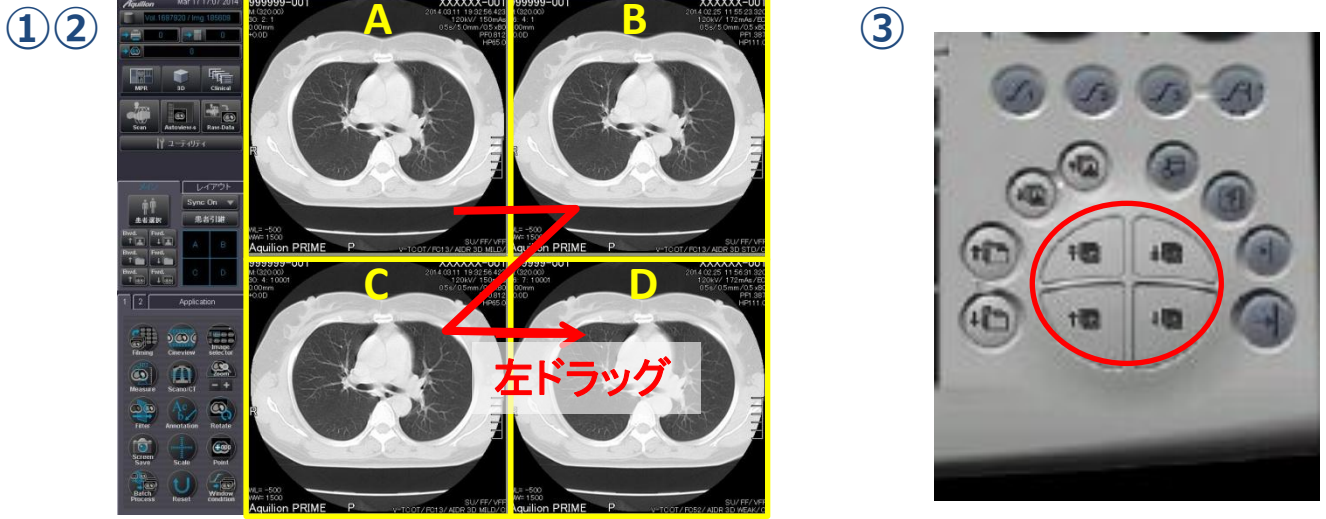
- 1 画像めくり**   
Axial画像、Batch保存したMPR画像などに使用できるボタンです。
- 2 高速画像めくり**   
Axial画像、Volumeデータ、MPRなどに使用できるボタンです。
- 3 シリーズめくり**   
表示されているStudy内のSeriesを変更できるボタンです。
- 4 患者めくり**   
表示されているStudyを変更できるボタンです。



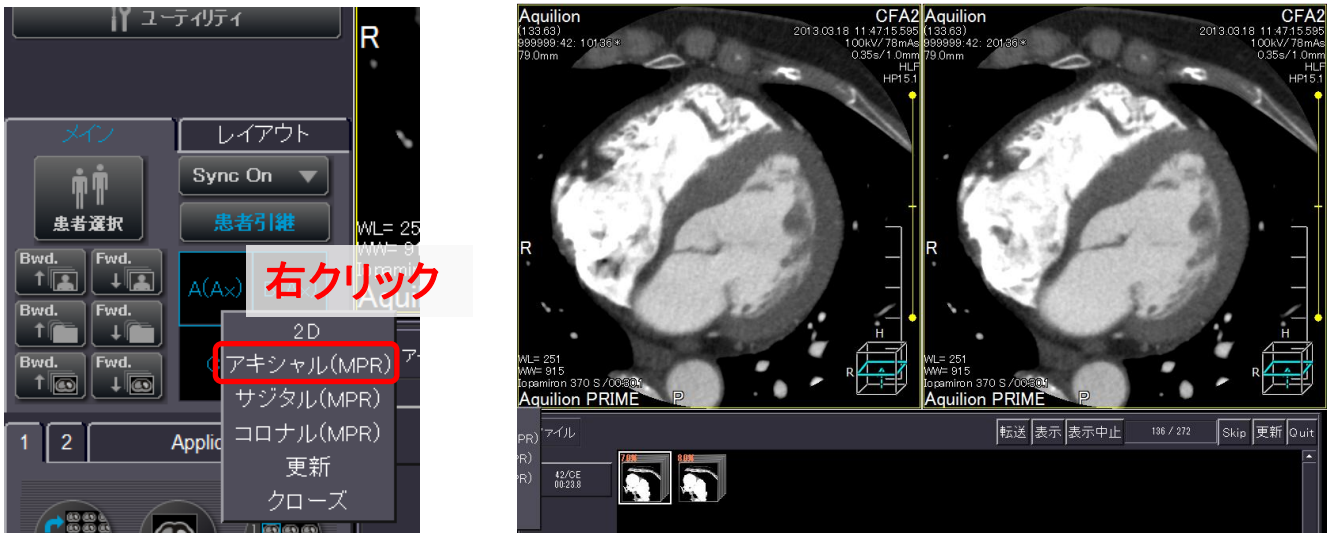
※上記はAquilionPRIME V5.0でのキーボードで、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。

Autoview-mではキーボードを使うことにより、同一Studyだけでなく異なるStudy同士の複数シリーズでも同時に画像めくりを行うことができます。

- ① Autoview-m画面に観察したい任意の複数シリーズの画像を表示エリアABCDにそれぞれ表示します。
- ② 同時に画像めくりを行いたい画像の表示エリアを左ドラッグで選択し、アクティブにします。
- ③ 画像めくりボタン（Volumeデータや簡易MPRの場合は高速画像めくりボタン）を押すと、選択した表示エリアの画像全てが同時にめくれます。※マウスでは同時にめくれません



※PhaseNAVIやDy-volumeのデータなど、一つのシリーズに複数のvolumeがある場合は、それぞれを簡易MPRのアキシャル表示にすると同時に比較めくりができます。



※上記はAquilionPRIME V5.0での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。